

平成27年度M I E 職員カ アワード 受賞取組概要

【改善活動分野】

募集部門	部局名	活動テーマ	グループ名	取組概要
協創推進部門	農林水産部	えっ！？「田んぼ」が洪水から地域を守る！	みえ田んぼダム推進チーム（津農林水産事務所）	近年の局地的豪雨等により、津市内河川沿いには避難勧告が発令され、一部浸水被害も発生しており、住民は生活に不安を感じている。そうした中、地域の自主防災活動の一つである「田んぼダム」は、水田の排水口に板を設置し、一時的に雨水を貯留させ、ゆっくり時間をかけて排水することで洪水の発生を防止・軽減できる取組である。仮に、津市の水田約6400haで10cm雨水貯留できた場合、640万tが貯留できる。また、この取組は、治水対策だけでなく、農家が農地・農作物を自ら守るという重要な役割も同時に期待できる。 そこで、他県の事例調査をふまえ、津市内の農家に対し「田んぼダム津農林モデル」の提案を行い、協議を重ねた結果、市内31haの水田において、来年度からの実施を実現した。
職員力向上部門	健康福祉部	みんなにわかりやすい印刷物をつくろう～情報保障の取組～	H26ジュニアボードわかりやすい印刷物制作委員会、地域福祉課	情報保障の取組も求められる障害者差別解消法の施行を背景として、平成26年度の健康福祉部ジュニアボード「わかりやすい印刷物制作委員会」では、わかりやすい情報の提供のための県庁内ガイドラインづくりに向けて検討することとなり、ユニバーサルデザインの観点から、すべての人にとってわかりやすい印刷物とするための項目を洗い出し、文字や文章の大きさ・間隔、レイアウト、図表の表現、強調、色使いなど、それぞれについて職員がどのような点に注目してつければよいのか、「職員が視覚的にわかりやすい」をコンセプトにガイドラインの案を作成した。 このジュニアボードの提案を受けた地域福祉課では、「わかりやすい情報提供のガイドライン」を作成し、全庁で共有するとともに、市町会議での配布やホームページでの公開など、広く庁外での活用も呼びかけている。
ワーク・ライフ・マネジメント部門	県土整備部	「面倒くさくない」取組による総勤務時間の縮減	県土整備総務課予算決算班	予算決算班の業務は、予算・決算の調製等、毎年度同じ時期に同じような作業を行う業務が中心であるため、班員間で必要な情報を共有し、各班員が年間のスケジュール感を持って、いかに段取り良く準備し作業を進められるかが業務効率化のカギとなっている。 しかし、こうした業務効率化も面倒な取組では長続きしないことから、コストパフォーマンスを重視し、いかに労力をかけずに効率化を図るかを考えた結果、年間スケジュールリングシートなどの簡易なツールを活用し情報共有、業務効率化を進めた。その結果、例年にはないような補正予算対応などの業務増があったにもかかわらず、前年比で時間外勤務を約17%削減するなど、総勤務時間を縮減できた。
成果向上部門	病院事業庁	地域の医療を支える「救急隊ホットライン」・「外来ホットライン」の取組	一志病院 診療部・看護部	一志病院は、高齢化の進む津市白山町及び美杉町を主な診療圏とし、初期診療を担う医療機関として、毎日、24時間体制で救急患者の受入を行っている。この地域の救急医療体制をより充実させるため、救急隊からの連絡専用医師直通の「救急隊ホットライン」（H25.8～）を開設するとともに、近隣の福祉施設・開業医との連絡専用外来看護師長直通の「外来ホットライン」（H26.12～）を開設してきた。 この取組によって、一志病院選定（患者受入連絡）時間の短縮（4分→3分）、地域の福祉施設職員の不安軽減、救急搬送患者の増加（294件（H24）→423件（H26））を背景とした入院収益等の増加により、経常収支の黒字化につなげるなど、地域住民よし、救急隊や近隣の福祉施設よし、病院よしの「三方よし」の取組となった。
自由テーマ部門	環境生活部	県立図書館版[としょコン]～お気に入りの本が結ぶ、新しい出逢い～	ナイトライブラリーへようこそ！2015（図書館、少子化対策課）	県立図書館と子ども・家庭局少子化対策課が連携して、閉館後の図書館を会場に「ナイトライブラリーへようこそ！2015 お気に入りの本が結ぶ、新しい出逢い」を開催した。これは、普段入れない地下の書庫などのバックヤードの見学と閉館後の館内でグループになり自分の好きな本を紹介した後に、閲覧室の中で交流会を開催する催しである。 イベントのポスターやチラシはデザインから印刷まで職員が手作りするとともに、参加者へのサプライズプレゼントとして、職員がそれぞれ工夫を凝らしたカードを添えたおすすめ本を準備するなど、当日の運営まで図書館全館で取り組んだ。（参加者：男性12名、女性12名）また、県立図書館の本の貸出期間が15日間というルールを利用した、再会の場も用意して出逢いの効果をさらに演出した。（参加者：男性4名、女性2名）

【グッドパフォーマンス分野】

推薦部門	部局名	推薦テーマ	グループ名	推薦理由
ピカイチ部門	雇用経済部	ひとをよびこめ！三重ジョブキッズキャラバン開催！！	雇用対策課	本県への交流人口を増加させ、ひいては定住人口を増加させることを目指し、県内各地の特長ある“三重ジョブ”を本物の事業者がキッズニースタイルで子どもたちに提供する「三重ジョブ キッズキャラバン～アウトオブキッズニア～」を実施した。事業初年度で、参加事業者開拓や実施スキームの企画などゼロからのスタートだったが、最初の鳥羽開催では、普段の生活ではわからない、立ち入れない場所で“しごと”を体験し、その8割が「三重県がより好きになった」と回答するなど参加者から高い評価をいただいた。
モハン部門	地域連携部（尾鷲）	若い力で地域の魅力を情報発信	紀北はまち座（紀北地域に勤務する職員9名）	尾鷲庁舎内各事務所等の若手職員で結成された「紀北はまち座」のメンバーは、若さと行動力を武器に様々な地域イベントに参加し地域の魅力発見と情報発信に積極的に取り組んでいる。これまで庁舎内限定であった「はまち座通信」を本年度から全庁発信に切り替えるとともに、みえリーディング産業展や移住相談会に参加するなどして地域の魅力発信を行っている。また、尾鷲高校生、尾鷲市・紀北町・尾鷲商工会議所の若手職員と連携し「東紀州の魅力・将来」をテーマにグループディスカッションも実施した。
コツコツ部門	健康福祉部	外国人の結核対策	津保健所保健衛生室健康増進課	津保健所管内では新登録結核罹患の外国人の割合が多いが、通訳者の確保が困難であり必要な情報を相互伝達することが非常に難しい。また、事業主等の結核に対する考え方が消極的で、患者が発生して初めて保健所に指導を求めるとというのが現状である。 このような中、翻訳料等の予算もない中、無償で翻訳してくれる人を探し、母国語による問診票や説明書を整備するとともに、関係機関（三重県経営者協会、津労働基準協会、三重県産業保健総合支援センター、日本語学校等）と連携をとり、リーフレットの配布や、健康教育を実施している。